

令和元年度クリーニング師試験 学 科 試 験 問 題

- 1 衛生法規に関する知識
- 2 公衆衛生に関する知識
- 3 洗濯物の処理に関する知識

(注意事項)

- (1) 解答用紙には必ず受験番号及び氏名を記入すること。
- (2) 試験時間は午前10時30分から12時までの90分間とする。
なお、時間内に答案作成を完了した者は、手をあげて係員に知らせ指示に従って退室することができる。ただし、試験開始後、30分間は退室を認めないものとする。
- (3) 時間中、トイレ等やむを得ない場合は、手をあげて係員の指示に従うこと。
- (4) 答案作成は鉛筆書き（シャープペンシル可）とすること。
- (5) 文字が不鮮明で読めないときは、手をあげて係員にその旨を告げること。
- (6) 受験中、隣席の者と話をしたり、のぞき見や不正行為のあった場合は、直ちに退場を命ずるものとする。
- (7) 受験票は、必ず机上の受験番号札の下に、表側を上にして置くこと。
- (8) 試験終了後は、受験番号等に記入漏れがないかを確認めたうえ、解答用紙を机の上に伏せて退室すること。

福 島 県

1 衛生法規に関する知識

問 1 次のクリーニング業法の条文について、それぞれの（ ）の中に入る語句として正しいものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1 法第3条第3項第4号 洗場については、（ア）が、不浸透性材料（コンクリート、タイル等汚水が浸透しないものをいう。）で築造され、これに適当な（イ）と排水口が設けられていること。

2 法第3条第3項第5号 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして（ウ）で指定する洗濯物を取り扱う場合においては、その洗濯物は（エ）と区分しておき、これを洗濯するときは、その前に（オ）すること。

〔語 群〕 （ア）①天井 ②壁 ③床
（イ）①勾配 ②換気扇 ③溝
（ウ）①厚生労働省令 ②都道府県条例 ③伝染病予防法
（エ）①洗濯後のもの ②他の洗濯物 ③色物
（オ）①消毒 ②前洗い ③乾燥

問 2 次のうち、クリーニング業法第5条第1項の届出を行っている営業者Aがクリーニング業法第5条の3に基づき営業者Bに承継することができるものには○を、できないものには×を、解答用紙に記入しなさい。

- 1 存命の個人営業者Aから、子であるB及びCが同意の上、Bに承継する。
- 2 死亡した個人営業者Aから、子であるCに同意を得ず、Bが承継する。
- 3 存命の個人営業者Aが代表者となって設立した法人Bに承継する。
- 4 法人Aと法人Cとの合併により新たに設立された法人Bが承継する。
- 5 法人Aを法人B及び法人Cに分割し、法人Bにのみ承継する。

問 3 クリーニング業法、施行令及び規則に関する次の文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 クリーニング所を開設しようとする者は、都道府県知事の許可を受けなければならない。
- 2 クリーニング業法第1条では、クリーニング業の分野における利用者の需要の高度化及び多様化に対応したサービスの提供を促進することを目的としている。
- 3 営業者はクリーニング所の従事者5人ごとに1人以上（5人未満の場合は1人以上）のクリーニング師を置かなければならない。
- 4 営業者は、厚生労働省令で定めるところにより、その業務に従事する者に対し、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従い指定した当該業務に関する知識の修得及び技能の向上を図るための講習を受けさせなければならない。
- 5 都道府県知事は、営業者がクリーニング業法第4条に規定するクリーニング師を設置せず、法第10条の2に基づく措置命令に従わないときは、クリーニング所の閉鎖を命ずることができる。
- 6 環境衛生監視員が行うクリーニング所への立入検査を、そのクリーニング所を経営する法人の従業員が忌避した場合は、従業員は罰せられるが、その法人は罰せられない。
- 7 都道府県知事は、免許証の記載事項に変更を生じたクリーニング師から免許証の訂正の申請があったときは、免許証を訂正して交付しなければならない。
- 8 都道府県知事は、他の都道府県知事の免許を受けたクリーニング師について、免許の取消しを適当と認めるときは、理由を付して、免許を与えた都道府県知事に、その旨を通知しなければならない。
- 9 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。
- 10 クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、1ヶ月以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。

2 公衆衛生に関する知識

問 1 次の水質汚濁防止法の第1条について、それぞれの（ ）の中に入る語句として正しいものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

第1条 この法律は、工場及び事業場から公共用水域に排出される水の排出及び地下に浸透する水の浸透を規制するとともに、（ア）の実施を推進すること等によつて、公共用水域及び（イ）の水質の汚濁（水質以外の水の状態が悪化することを含む。以下同じ。）の防止を図り、もつて国民の（ウ）するとともに生活環境を保全し、並びに工場及び事業場から排出される汚水及び廃液に関して人の健康に係る被害が生じた場合における事業者の（エ）について定めることにより、（オ）の保護を図ることを目的とする。

[語群] (ア) ①環境汚染対策 ②生活排水対策 ③化学物質の規制
(イ) ①地下水 ②水道水 ③工業用水
(ウ) ①利益を擁護 ②健康を保護 ③安全に寄与
(エ) ①排出基準 ②衛生措置 ③損害賠償の責任
(オ) ①被害者 ②動植物 ③営業者

問 2 次の感染症（A）と病原体（B）の組み合わせで正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 (A) インフルエンザ — (B) ウイルス
- 2 (A) エボラ出血熱 — (B) 細菌
- 3 (A) デング熱 — (B) リケッチア
- 4 (A) 結核 — (B) ウイルス
- 5 (A) レジオネラ症 — (B) 細菌

問 3 次の文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 クリーニング所で石油系溶剤を用いる場合は、特別管理産業廃棄物管理責任者の設置をしなければならない。
- 2 ノロウイルスの付着したリネン類に次亜塩素酸ナトリウムを用いても消毒効果がない。
- 3 クリーニング洗浄剤として用いられているHFC-365mfc（ソルカン）は、京都議定書で温室効果ガスとされている。
- 4 ドライクリーニング機械から排出する廃液中の1,1,1-トリクロロエタンの管理濃度は水質汚濁防止法で0.1mg/L以下としている。
- 5 セレウス菌が形成する芽胞は、熱やアルコールにも抵抗性がある。
- 6 感染症の感染経路には、直接接触、垂直感染、空気感染、媒介物感染などがある。
- 7 クリーニング業法施行規則第1条に規定する指定洗濯物は、病院または診療所において療養のために使用された寝具その他これに類するもののみをいう。
- 8 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律では、業種毎に厚生労働大臣が振興指針を定めることになっている。
- 9 石油系溶剤（引火性溶剤）を用いるドライクリーニングを営む工場は、工業系、商業系用途地域においては立地可能だが、住居系地域では一律に立地が制限される。
- 10 寝具やじゅうたんに生息するダニによりアレルギーが引き起こされることがあるが、ダニの死がいやふんにより引き起こされることはない。

3 洗濯物の処理に関する知識

問 1 次のランドリーの予洗に関する文章について、それぞれの（ ）の中に入る語句として最も適切なものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 繊維、汚れ、糊などを（ア）させ、汚れを取りやすくする。
- 2 （イ）の浸透を助ける。血のついたシーツ、油性汚れのひどいものは予洗する。一般洗濯の場合、予洗は必要ない。
- 3 使用薬剤として（ウ）を用い、水量は本洗いより多めで、温度は（エ）℃以下にする。

[語群] (ア) ①膨潤 ②収縮 ③硬化

(イ) ①洗剤 ②水 ③溶剤

(ウ) ①中和剤 ②酸性剤 ③アルカリ剤

(エ) ①5 ②40 ③80

問 2 次のランドリーにおける染色物の洗濯に関する注意事項について適切なものには○を、不適切なものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 移染を防ぐため水量を少なくする
- 2 無蛍光の中性洗剤を用いる
- 3 温度を抑制する
- 4 漂白は行わない
- 5 洗濯時間、すすぎ時間を長くする
- 6 脱水終了後は、速やかに取り出す

問 3 次の文のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を解答用紙に記入しなさい。

- 1 クリーニング長期間放置品解消検討委員会及び分科会がとりまとめた提案では、クリーニング業者が果たすべき責務として、利用者と放置品の処分に関する条項が含まれた契約を交わすことを例示している。
- 2 フッ化ナトリウムは、濃度に関係なく危険であるので、安全な代替品であるフッ化水素に切り替えることが推奨されている。
- 3 綿の形状は細く扁平なりボン状で、自然のよじれがあり、繊維断面は中空である。
- 4 フェルト化とは、繊維表面のスケールが乾燥状態でもまれることで、繊維が絡み合って収縮し硬くなることをいう。
- 5 ランドリーの際の水深は、洗濯物が水を含んだ状態で測定するため、内胴回転時に測定する。
- 6 石油系ドライクリーニングでは、ドライソープを適正に使用していることを証明するため、ドライソープ濃度の測定、記録、保管を行う。
- 7 テトラクロロエチレンは、油脂溶解力が大きいので、短時間で洗浄できるが、揮発しにくいので、乾燥に長時間を要する。
- 8 毛皮のパウダークリーニングは、トウモロコシの芯の粉などを毛皮用洗剤と加脂栄養剤を含ませてタンブルし、汚れをパウダーに吸着させて洗う方法である。
- 9 洗濯物の引渡しの際には、カバーを外して品物をよく見える状態にし、顧客に確認を促す。
- 10 ランドリーで用いる水として、カルシウムやマグネシウムが多く含まれる硬水で処理をすると、洗剤の効果が高くなる。